

委員長報告

一般会計

総務産業・社会文教常任委員会では、付託された令和8年度一般会計予算案について、慎重に審査し、その結果を両委員長が本会議で報告しました。

総務産業常任委員会

昭和橋改修工事

令和8年度完了見込み

委員長 玉川清史
たまがわきよぶみ

歳入

問 ガソリン税の暫定税率廃止により、町における影響は。

答 地方揮発油譲与税について、暫定税率分の200万円の減額を見込んでいるが、令和8年度においては、地方特例交付金で減収分の全額が補てんされる。

歳出

総務課

問 衆議院議員総選挙での当日投票時間短縮の効果は。

答 投票率低下などの影響も無く、有権者への開票結果の報告を早めることができた。

企画政策課

問 移住定住促進事業補助金の見込件数は。

答 1件当たり10万円の補助で、35件分を見込んでいる。

問 温泉施設維持補修工事の内容は。

答 湯さん館の照明機器のLED化工事、非常用発電設備の更新、男風呂ろ過機のオーバーホール工事が主なものである。

問 さかきワイン文化推進事業の内容は。

答 千曲川ワインバレー特区連絡協議会の広域連携に係る事業負担金及び坂城駅前葡萄酒祭開催に係る補助金である。

商工農林課

問 防災行政無線(同報系)管理事業について、設備修繕工事の内容は。

答 びんぐしの里公園の定点カメラが落雷の影響により故障しているため、更新するための工事費である。

問 勤労者総合福祉センターの施設改修工事の内容は。

答 エレベーターの更新工事で、作業期間は2か月程度を見込んでいる。

問 有害鳥獣対策について、門扉等が設置できない道路や河川での対策は。

答 門扉等が設置できない道路や河川では、侵入防止柵の折り返しによる対策を行い、それでも侵入してくる有害獣に対しては、センサーにより音や光を発生させて追い払う対策を行っている。

問 鉄の展示館で開催される企画展や特別展など

の内容は、どのように決定しているか。

答 毎年12月に、鉄の展示館協議会を開催し、刀匠や有識者の皆さんから意見を聞いて決定している。

建設課

問 来年度以降の水道事業広域化協議会の協議内容は。

答 組織や職員、業務運営、施設整備、財政運営など具体的な事業内容を定める「事業計画(案)」策定の検討を進めていく。

問 昭和橋の完了の目途は。

答 昭和橋は例年同様アーチ部の補修工事のほか、照明設備やライトアップ設置工事を行い、令和8年度中の完了を予定している。

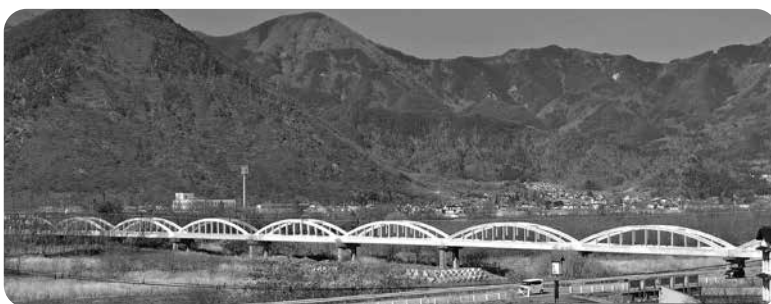
問 町内の橋梁数と点検計画は。

答 町内の橋梁数は157橋であり、跨線橋

2橋と町内110橋の橋梁点検を予定している。

問 南条小学校に設置するマンホールトイレの設置場所と基数は。

答 体育館とプールの間の通路に設置し、多目的用1基、女性用2基、男性用2基の合計5基である。



昭和橋

町内防犯灯・施設LED化

委員長 山城峻やましろしゅんじゅん

住民環境課

問 防犯灯のLED化について、債務負担行為が設定されているがその理由は。

答 供用開始に向け、準備期間として令和8年度は防犯灯の改修工事を行う。

令和9年度から10年間でリース対象期間となるため、11年間の債務負担行為を設定している。

問 リース契約中及びリース契約後の保守は。

答 リース期間中の保守は、防犯灯の灯部がリース保守対象となっており、リース契約後は、町に所有権が移管されるため、町が修繕をしていく。

問 LED化することによる、町全体の電気料の想定は。

答 電気料はLED化することにより、約3分の1になると想定している。

問 令和9年度から開始するプラスチック資源の回収の方法、及び地元説明会の時期は。

答 可燃ごみと同等サイズの専用指定袋にプラスチック製容器包装及び製品プラスチックを入れ、可燃・不燃ごみ収集所に出す形を予定している。地区説明会については、6月以降に実施を予定している。

福祉健康課

問 住民税非課税世帯等エアコン設置費助成事業の経費内訳は。

答 事業実施に係る事務費として、消耗品や印刷製本費、口座振込に係る手数料のほか、エアコン設置補助金として523万2千円を計上している。

問 介護予防施設管理等運営事業の施設等改修工事について、内容と工期は。

答 ふれあいセンターのLED化工事を行うもので、工期は2か月を予定している。部分的に改修を進めるため、休館は行わない予定である。

問 産後ケア事業の自己負担額の状況は。

答 新年度から住民税課税世帯の方の自己負担額について、訪問型と通所型は利用料金を3割から2割に変更し、更に短期入所型、訪問型、通所型の1回あたりの自己負担額から2500円の減額を5回まで利用できるように軽減を実施していく。

教育文化課

問 給食調理業務委託の状況は。

答 委託料については3園分を保育園総務費に一括計上している。各園の調理員は、南条保育園4名、坂城保育園3名、村上保育園3名で全員調理師免許を保有している。

問 保育園においてDX化は進んでいるか。

答 坂城保育園では、園児の写真を保護者に配布する方法について、保護者が自由に購入できるアプリを利用する仕組みと

し、令和8年度、南条保育園と村上保育園でも実施する予定である。

問 児童館運営費の施設等改修工事の内容は。

答 坂城児童館、村上児童館の照明のLED化改修工事を予定している。

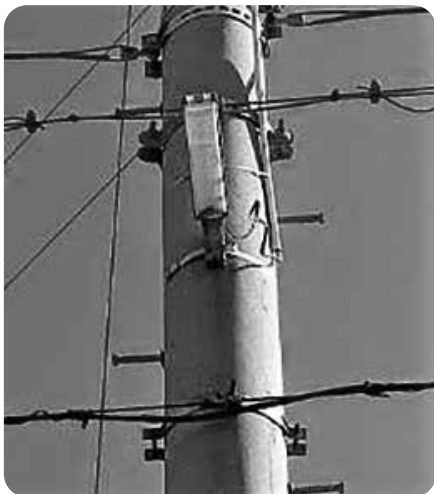
問 給食費等補助金のうち、食物アレルギー補助金対象者の見込みは。

答 令和8年度は、給食の全停止について中学生3名、小学生3名。一部停

止は中学生5名、小学生25名分を見込んでいる。

問 小中学校のLED更新事業の債務負担行為の理由と今後のスケジュールは。

答 更新による費用負担を平準化するため10年間のリースとし、リース期間中の支出予算を担保するために債務負担行為を本議会に上程している。4月中に入札を行い、夏休み中に町内小中学校全ての更新を予定している。



防犯灯LED化へ

委員長報告

各常任委員会では、付託された令和8年度の3特別会計予算案及び公営企業会計予算案について、慎重に審査し、その結果を委員長が本会議で報告しました。

国民健康保険

社会文教常任委員長 山城峻やましろしげんいち

一人当たり医療費 約41万円

問 県支出金の減額理由は。

答 県支出金の歳入見込みは、歳出の医療費等に係る療養給付費と連動するもので、被保険者の減少等に伴い医療費の減少が見込まれるものである。

問 被保険者の減少理由は。

答 後期高齢者医療への移行とあわせ、社会保険の適用拡大によるものである。

問 高額療養費200万円減額理由は。

答 減額要因としては全体的な医療費の減少に伴い、高額療養費も減少傾向にある。

問 国民健康保険の被保険者数と一人当たり医療費は。

答 令和8年2月末で、1599世帯、2328人で、一人当たり医療費は、令和6年度確定値で41万4412円である。

利用しやすくサービス給付費増加へ

介護保険

社会文教常任委員長 山城峻

問 認定審査事業のうち、長野広域連合負担金の増額理由は。

答 令和9年4月に開始される国のシステム標準化に関する、システム改修を8年度に予定している。また、介護認定審査に係る市町村負担と実績割が含まれている。

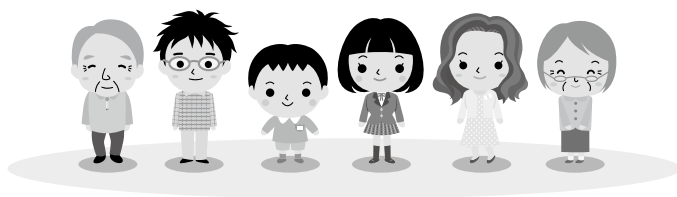
問 地域密着型介護サービス給付費の増加理由と町内事業所の数は。

答 地域密着型は、利用定員も少なく地域にある通いやすい事業所であることから、サービ

問 支給付費の増加を見込んでいます。また、認知症の診断を受けた方が利用する、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）や認知症対応型通所介護の利用が増えている状況である。町内には7事業所がある。

問 居宅介護住宅改修費について基準はあるのか、また上限額は。

答 居宅における生活を継続するために必要な改修を行うもので、要介護認定者が利用でき、上限額は20万円である。



「高齢者福祉・介護保険サービスガイド」QRコードからご覧になれます。



後期高齢者医療

社会文教常任委員長 山城峻一

子ども・子育て支援金制度導入

問 後期高齢者医療保険料の増額理由は。

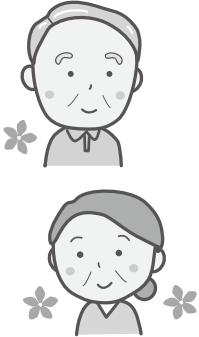
答 長野県後期高齢者医療広域連合の算定によるもので、被保険者数の増加、及び令和8年度から開始する子ども・子育て支援金制度の導入により増額となっている。

問 後期高齢者医療広域連合納付金の増額理由は。

答 被保険者数の増加に伴い、保険料及び、低所得者等に対して行う保険料軽減対象人数の増加による保険基盤安定負担金の増額が要因である。

後期高齢者医療資格確認書	
有効期限	令和8年7月31日
交付年月日	令和〇年〇月〇日
被保険者番号	〇〇〇〇〇〇〇〇
住所	〇〇市〇〇町〇〇番地〇〇
氏名	後期 太郎
性別	男
生年月日	昭和〇年〇月〇日
資格取得年月日	令和〇年〇月〇日
負担割合	〇割
発効期日	令和〇年〇月〇日
限度区分	
発効期日	
長期入院該当日	
特定疾病区分	
発効期日	
保険者番号	
並びに	
保険者名	
長野県後期高齢者医療広域連合 印	

資格確認書の見本



下水道事業会計

総務産業常任委員長 玉川清史

本管工事・点検業務

問 令和8年度に予定している工事箇所は。

答 葛尾組合及び坂城インター工業団地周辺及び南条保地区の町道A01号線の拡幅部を予定している。

答 人口減少及び節水機器の普及によるものだと考えられる。

問 下水道使用料収入の減少理由は。

答 下水道事業費用の管きよ費の委託料の内容は、管渠等耐震詳細診断、マンホールポンプ保守点検、管路点検の業務を予定している。



下水道デザインマンホール

表紙の写真



今号の表紙は町内の桜の名所を巡る旅となります。坂城町には素晴らしい桜の景色を眺めることができる場所が多くあります。きっとお気に入りの場所を訪れる方も多いのではないのでしょうか。

今号が皆様のお手元に届くころには、新緑が芽吹き葉桜の様相となるかと思われます。

四季の移ろいを楽しみながら、是非町内そぞろ歩きを楽しんでみてはいかがでしょうか。

(文：おびなたしんや 大日向進也)

一般会計と特別会計の違いは？

一般会計は、地方公共団体において町民のサービスの提供を始めとする行政運営の基本的な経費（福祉・教育・土木など）を計上している会計です。

一方で**特別会計**は、事業目的を限定し、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別して経理する必要がある場合に設けられる会計です。

坂城町では令和8年度に、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の3会計があります。

公営企業会計は？

公営企業会計は、事業収入を主な財源として、独立採算の原則により特定の事業を経理する会計です。複式簿記を採用し企業活動を正確に把握できます。

下水道事業会計には2つの財布があり、使用料収入や施設の維持管理費などに係る財布を収益的収支、下水道施設の整備や改修などに係る財布を資本的収支として区分しています。